

オリパラ便り



令和元年6月17日(月)
第1号

【今年度のオリパラ学習】

運動会へのご参観、ご協力ありがとうございました。マスゲームや競技に一生懸命な姿、励まし合う姿、係の仕事に責任をもって行う姿など、感動的な場面が沢山見られ、オリンピックイヤー前年にふさわしい運動会になりました。

いよいよ2020オリンピック・パラリンピック大会が来年に迫ってきました。今年度もオリンピック・パラリンピック学習の報告をかねて、オリパラ便りを発行していきます。本校は昨年度までの取組が優秀であると認められ「令和元年度オリンピック・パラリンピック教育アワード校」に認定されました。日常生活のあらゆる場面でオリパラ教育を意図的・計画的に進めます。昨年同様「茶道体験」「和菓子作り」「着付け体験」などを行い、日本の伝統文化に誇りをもち、日本の良さを発信することができる生徒の育成を目指します。また、パラリンピック種目「ボッチャ」の選手をお招きしての講演・体験や、義肢装具士の方（義足や義手を制作する方）の講演を予定し、障害者スポーツへの理解を深めます。さらにJICA国際協力機構の方をお招きし、国際理解についての講演会も10月に予定しております。今月号では本校のオリパラ学習の全体像を紹介します。

<各教科>

- ・オリンピック・パラリンピックの歴史や意義を知る。(保健体育、社会)
- ・障害者について理解する。(保健体育)
- ・体力向上に向けた取組を行う。(保健体育)
- ・国際社会に対する関心や国際貢献の意欲を高める。(英語、社会、理科、数学)
- ・和装・書道・武道などの日本の伝統・文化の良さを学ぶ。(技術・家庭科、音楽、国語、美術、保健体育)

<道徳>

- ・国際的な視野に立ったルールやマナー、規範意識を身に付けさせる。
- ・互いの生命や人権を尊重し、相手の身になって考え行動する力、思いやりの心を育てる。
- ・豊かな心を育て、ボランティアマインドの心を養う。
- ・他国の伝統や文化を尊重できる態度を養う。

4つのテーマ



オリンピック・パラリンピック学習

(年間35時間)

- 1 日本及び他国を理解し、他国の人、文化、伝統等を尊重する態度を育成する。
- 2 障害者スポーツを体験し、理解を深める。
- 3 体力の向上を図る。

4つの目標



<総合的な学習(OT)の時間>

- ・ゲストティーチャーを招いた講演会や体験・交流会を実施する。
- ・日本の伝統文化(茶道・和菓子・着付け)の良さを学ぶ。
- ・パラリンピック関係者の講話や交流会を通して、障がい者について理解を深める。
- ・学校図書館におけるオリパラについての興味・感心を向上させる図書充実や、関町図書館との連携によって調べ学習の資料の充実を図る。

<特別活動等>

- ・校外学習や修学旅行での外国人へのインタビュー活動を通して英語でのコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・体育的行事を通して、公正・協力・責任を重んじた、オリンピック・パラリンピック精神を培う。
- ・小中連携の体力向上部会を中心に、学校行事や部活動を中心とした体力向上を図る。
- ・文化的行事を通して、日本の伝統や文化を継承し発信する。